

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
成人看護学実習 I	通年	3年	必修	3単位	135h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎香川将大 岡本佐智子 松戸麻華	shota.kagawa@tohto.ac.jp sachiko.okamoto@tohto.ac.jp madoka.matsudo@tohto.ac.jp		学生の申し出により時間調整		
授業の概要					
周手術期及びクリティカルな状態にある対象者の健康問題を理解し、対象者とその家族への看護の必要性を判断し、個々に応じた看護を実践するための基礎的能力を修得する。また、ヒューマンケアの理念に基づき、医療チームの一員として貢献するための態度を身につける。					
キーワード	到達目標				
周手術期看護 クリティカル 看護過程展開	1. 手術を受ける対象の特徴とそれぞれの健康特性を、身体・心理・社会の各側面から総合的に理解し、アセスメントできる 2. 根拠に基づき、手術を受ける対象の健康上の諸問題を統合的に把握し、見出した看護問題から看護計画を立案できる 3. 看護計画に沿って手術を受ける対象の療養生活を支援し、自己の看護実践を客観的に評価できる 4. 人間の尊厳を尊重する姿勢や看護専門職としての倫理観をもち、医療チームの一員として主体的・継続的に貢献するための態度・行動をとることができる				
学習内容					
【実習方法】 1. 実習場所： 主に外科病棟、手術室 2. 担当を予定している患者： 周手術期にある患者 3. 実習のすすめかた 事前学習： 学内演習 1週目： 学内オリエンテーション、学内演習、病棟オリエンテーション、病棟実習、中間評価 2週目： 病棟実習、ケースカンファレンス、最終カンファレンス、評価面接					
受講要件					
2年次後期までの学年進捗とされているすべての必修科目の単位を修得していること					
実習記録（事前課題を含む）	その他		合計		
70%	30%		100%		
教員からのメッセージ					
周手術期の患者さんは、身体的にも精神的にも非常にストレスフルな状況にあり、多くのケアを必要としています。看護実践の質が患者さんの回復を左右します。したがって、皆さんはこれまでの学びを十分に復習し、周手術期の患者さんに看護をするために必要な知識をもって実習に臨むことを期待します。皆さんが実習を通してこれまでの知識と実践がつながり、看護の面白さややりがいを実感できるように、教員と臨床指導者が連携しながら実習指導にあたります。					